

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成22年5月6日 (2010.5.6)

【公開番号】特開2009-21670(P2009-21670A)
 【公開日】平成21年1月29日 (2009.1.29)
 【年通号数】公開・登録公報2009-004
 【出願番号】特願2007-180907(P2007-180907)
 【国際特許分類】

H 0 4 Q 9/00 (2006.01)

H 0 4 N 7/173 (2006.01)

H 0 4 M 11/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 Q 9/00 3 1 1 Q

H 0 4 N 7/173 6 3 0

H 0 4 M 11/00 3 0 1

【手続補正書】
 【提出日】平成22年3月17日 (2010.3.17)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

複数のマルチメディア機能が搭載された情報処理装置において、
 対向機器から無線通信を介してリモコンコマンドを受信したときに、前記複数のマルチ
 メディア機能の中から 1 つのマルチメディア機能を起動する方法を設定する設定手段と、
 前記対向機器から無線通信を介して送信されてきたリモコンコマンドを受信したとき、
 前記設定手段により設定されているマルチメディア機能を起動する方法に基づいてマルチ
 メディア機能の起動を制御する制御手段とを備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

マルチメディア機能を起動する方法がオート設定であると判定された場合、前記制御手
 段は、直近で起動されたマルチメディア機能を起動するように制御することを特徴とする
 請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

直近で起動されたマルチメディア機能が地上波デジタルワンセグ放送波に関する機能で
 ある場合、前記制御手段は、前記地上波デジタルワンセグ放送波に関する機能を起動する
 ように制御し、直近で起動されたマルチメディア機能が地上波デジタルラジオ放送波に関
 する機能である場合、前記制御手段は、前記地上波デジタルラジオ放送波に関する機能を
 起動するように制御し、直近で起動されたマルチメディア機能が F M ラジオ放送波に関す
 る機能である場合、前記制御手段は、前記 F M ラジオ放送波に関する機能を起動するよう
 に制御し、直近で起動されたマルチメディア機能が音楽プレーヤに関する機能である場合
 、前記制御手段は、前記音楽プレーヤに関する機能を起動するように制御することを特徴
 とする請求項 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

直近で起動されたマルチメディア機能が所定の放送波に関する機能である場合に、前記
 所定の放送波の受波状況に応じて、直近で起動されたマルチメディア機能またはそれ以外
 のマルチメディア機能を起動するように制御することを特徴とする請求項 2 に記載の情報

処理装置。

【請求項 5】

直近で起動されたマルチメディア機能が地上波デジタルワンセグ放送波に関する機能、地上波デジタルラジオ放送波に関する機能、またはFMラジオ放送波に関する機能である場合に、前記地上波デジタルワンセグ放送波、前記地上波デジタルラジオ放送波、または前記FMラジオ放送波が受信可能ではないとき、予め設定された優先度に従い、優先度が高いマルチメディア機能を起動するように制御することを特徴とする請求項 4 に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

直近で起動されたマルチメディア機能が所定の放送波に関する機能である場合に、前記所定の放送波が受信可能ではないときであっても、直近で起動されたマルチメディア機能を起動するように制御することを特徴とする請求項 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

直近で起動されたマルチメディア機能が音楽プレーヤに関する機能である場合に、前記音楽プレーヤを用いて再生可能なオーディオデータがないとき、予め設定された優先度に従い、優先度が高いマルチメディア機能を起動するように制御することを特徴とする請求項 2 に記載の情報処理装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の情報処理装置は、上述した課題を解決するために、複数のマルチメディア機能が搭載された情報処理装置において、対向機器から無線通信を介してリモコンコマンドを受信したときに、複数のマルチメディア機能の中から1つのマルチメディア機能を起動する方法を設定する設定手段と、対向機器から無線通信を介して送信されてきたリモコンコマンドを受信したとき、設定手段により設定されているマルチメディア機能を起動する方法に基づいてマルチメディア機能の起動を制御する制御手段とを備えることを特徴とする

。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の情報処理装置においては、複数のマルチメディア機能が搭載された情報処理装置において、対向機器から無線通信を介してリモコンコマンドが受信されたときに、複数のマルチメディア機能の中から1つのマルチメディア機能を起動する方法が設定され、対向機器から無線通信を介して送信されてきたリモコンコマンドが受信されたとき、設定されているマルチメディア機能を起動する方法に基づいてマルチメディア機能の起動が制御される。